

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

# 縣報

第百卅六號

明治卅五年十月十五日

## 和歌山縣

公文

和歌山縣令第四百十八號

炭疽發生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十五年十月十三日

一 那賀郡池田村大字東三谷

和歌山縣知事 藤 澤 一 郎

東 春日川辻限

西 春日道路限

南 岩田親一宅前耕地畦畔限

北 奈良留古居宅東側春日川支流小溝限

一 圖

○和歌山縣訓令甲第六十五號

郡役所  
 警察署  
 全分署  
 市役所  
 町村役場

本月五日神奈川縣橫濱市及橋本郡子安村ニベスト患者發生ノ旨其筋ヨリ通牒アリ抑モ該病  
 毒ノ猛烈ニシテ其被害ノ及ホス處甚大ナリシハ己ニ先年縣下湯淺町ニ於ケル事歴ニ徴シテ  
 明ナリ然而橫濱市ハ縣境ト相隔絶セリト雖モ海陸ノ交通漸繁ニシテ旅客貨物ノ集散亦從テ  
 多キヲ以テ何時如何ナル關係ヨリ病毒ノ侵襲スル哉モ計リ難シ故ニ此際全地方ヨリ來ル船  
 舶旅客ヲ對シテハ嚴密注意觀察ヲ加ヘ若シ萬一該病患死者又ハ疑ヘシキ患者死者ヲ發  
 見シタルトキハ豫テ訓達ノ趣旨ニ基キ嚴重措置スヘシ

明治三十五年十月十三日

和歌山縣知事 椿 嘉一 耶

○和歌山縣告示第三百二十八號

來ル十四日ヨリ左記日割豫定ヲ以テ由良海陸正面ニ對シ由良要塞砲兵聯隊火砲射撃セラル  
ヘキニ付危險ノ虞ナキ様注意スヘシ

明治三十五年十月十日

和歌山縣知事 椿 基一 郎

射撃演習日割豫定

自十月十四日

至十月十九日

自十月二十日

至十月廿五日

由良海正面大砲射撃

由良陸正面大砲射撃

但シ天候ニヨリ該日割ハ多少變更スルコトアルヘシ

○和歌山縣告示第三百二十九號

縣下那賀郡池田村大字東三谷岩田親一飼牝牛一頭本月十一日炭疽ニ罹リ十二日斃死セリ  
明治三十五年十月十三日 和歌山縣知事 椿 基一 郎

○辭令

明治三十五年十月十日

和歌山縣伊都郡書記 水澤 秀治 郎

縣報第三百三十六號

明治三十五年十月十五日

第三種郵便物認可

依願免本官

給八級俸

全 田村 土岐 三郎  
全 窪田 靜夫

給月俸拾貳圓

全 田中 孝太郎

給月俸拾壹圓

全 相賀 盛平

給月俸九圓

全 上垣 寅吉

任和歌山縣伊都郡書記

森田 政吉

給月俸拾貳圓

和歌山縣伊都郡書記 森田 政吉

東牟婁郡古座警察分署長

警 部 横 卷 一 茂

○觀測

明治三十三年八月三日三曜便物認可

明治三十五年十月十日、十三日間當地氣象概況

種類	十月十日	十月十一日	十月十二日
平均氣壓	七六〇耗一	七六二耗六	七六一耗〇
最高氣溫	二〇度五	一九度八	一九度六
最低氣溫	一五度九	一三度八	一五度七
最多風向	北	東北東	東
平均風力	三米五	二米四	二米八
天氣	晴	晴	雨
雨雪量	〇耗〇	〇耗〇	九耗七
記事	午前一時 五十五分 ヨリ全二 時五分迄	日暈及ヒ 月暈アリ	午後一時 三十二分 ヨリ降雨 斷續
			月暈アリ

縣報第百三十六號

明治三十五年十月十五日

第三種郵便物認可

四三

微雨

(每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)  
 明治三十五年十月十四日印刷  
 明治三十五年十月十五日發行  
 (金澤行) 和歌山縣  
 印刷人 和歌山市拾貳番丁十三番地  
 和歌山市中村 和歌山縣十二番丁十三番地  
 和歌山縣報社印刷部